

大分県における発達障がい児者 支援ネットワーク構築への取り組み

発達障がい者支援センター運営5年後の成果と展望



「こども、当事者、保護者、先生、支援者が独りにならないために」

大分県発達障がい者支援センター イコ＝ル
センター長 五十嵐 猛

平成17年4月「発達障害者支援法」施行に合わせて自閉症専門施設が受託

社会福祉法人「萌葱の郷」
大分県自閉症・発達障害支援センター

ECOAL イコール
Enterprising Center for Oita Autism Life

この事業は大分県の委託を受けて行っています

ごあんない



お気軽にご相談ください!
(育児・保育・就学・就労・発達・療育・生活・余暇・行動障害等)

無料

まず専用ダイヤルへお電話ください
☎097-586-8080
相談方法及び相談日時を予約していただきます
受付時間は月曜日から金曜日の午前10時から午後5時までです



大分県自閉症・発達障害支援センター

ECOAL
Enterprising Center for Oita Autism Life

ごあいさつ

自閉症及び発達障害のある人が、保育・教育・医療や福祉サービスを受ける際には、ライフステージに応じて障害の特性を理解した配慮が求められます。私たちは、大分県内唯一の自閉症専門施設として、これまで発達困難に至った様々な事例に関わってきましたが、その中で痛感したことは、ライフステージを通して一貫性のある支援を提供することの重要性です。

彼らの人生を豊かで生きがいのあるものとするために、私たちは自閉症専門施設として培ってきたノウハウを提供するとともに、関係機関や団体との連携を通して、彼らが地域で安心して暮らせる社会の実現に取り組みます。

当センターの愛称である「イコール」には、「お互いが尊重し合い、社会的な理解や支援の輪を広げていこう」という想いが込められています。

愛称共々、大分県自閉症・発達障害支援センターをよろしく申し上げます。



大分県自閉症・発達障害支援センター ECOAL

〒879-7304
大分県豊後大野市犬飼町大寒2149-1
めぶき園地域交流ホーム内

ECOAL
☎ 097-586-8080
FAX 097-586-8071

http://www.moeginosato.net ecoal@moeginosato.net

発達障がい者が人とつながりをもって暮らしていける地域づくりを創造する

大分県発達障がい者支援センター イコール

〒879-7304 大分県豊後大野市犬飼町大寒2149-1

TEL 097-586-8080 FAX 097-586-8071

<http://www.moeginosato.net> E-mail ecoal@moeginosato.net



センター機能：当事者を中心とした支援体制の推進

大分県自閉症協会

施設部会、成人部会、青年部会、年少部会、
高機能・アスペルガー部会、専門部会

活動内容：定例会、研修会、キャンプ、レクリエーションなど

軽度発達障害者の自立生活を支える会

保護者情報交換会、研修会など

当事者サークル(青年・成人)

定例会、余暇活動など

センターへの期待：発達障がいに関する公的な専門性を拡大すること



大分県発達障がい児者実態調査

(実施主体:発達障がい者支援体制推進会議)

発達障害者支援法に定める発達障がい児(者)の乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した支援体制の整備について検討を行うための実態把握を行う

平成18年度 発送1,482通 回収1,119通 回収率75.5%

保護者、保育所、幼稚園、学校、施設、相談機関の実態調査

平成19年度 分析のための検討会議 6回

大分県発達障がい者支援体制基本方針の作成

平成20年3月策定 県民意見の募集と反映

大分県発達障がい者支援体制整備基本方針の策定

周知方法:冊子の配布と県ホームページへの掲載



大分県発達障がい者支援体制整備基本方針の柱 (実態調査の結果)

A : 各ライフステージにおけるニーズ
早期発見・早期療育の体制整備
生活・就労支援の推進
学校(学齢期)における支援

B : 全てのライフステージにおけるニーズ
知識の普及・啓発
専門家の養成
関係機関の連携体制の整備

平成20～24年度 大分県における施策の指針として位置づける

支援ネットワークの構築に向けて

■ 各ライフステージにおけるニーズを充実させていくためには、まず、自閉症をはじめとする発達障がい児者の特性を理解し、適切な支援や計画を作成することができる専門家を養成することと、関係機関による情報の伝達手段やネットワークを構築することが不可欠であることを平成17年度の大分県発達障がい者支援センター連絡協議会の場において関係機関の共通認識として確認する。

様々な誤解や方法論のもとでバラバラにすすめられた結果、生じる2次障害への対応と予防するための情報伝達と専門性の位置づけを確立する

- : ライフステージを通じた支援計画作成と経過の伝達
- : 発達障がいに関する専門家の養成(SV体制)




発達障がい者支援センター連絡協議会

構成機関(医療、保健、教育、福祉、労働、保護者等 合計28団体)
博愛病院(会長)、国立病院機構、精神保健福祉センター、労働局
県健康対策課、県障害福祉課、市障害福祉課、県特別支援推進課
障害者職業センター、保育連、幼稚園連合、知的障害者更生相談所
児童相談所、知的障害者施設協議会、県社会福祉事業団、育成会
自閉症協会、県警フレンドリーサポート、相談支援専門員、
社会福祉法人、支援専門員の会、大分県発達障がい者支援センター

連絡協議会を実施主体とした事業・検討会

：発達支援ファイル検討委員会(H19～)

：発達障がい者支援専門員養成研修(H18～)



支援ネットワークに向けた取り組み (発達障がい者支援のための連携ツール)

大分県発達支援ファイル検討会

構成メンバー(平成18年～21年)

県障害福祉課、県健康対策課、特別支援教育推進課、障害者職業センター、児童相談所、発達障がい者支援センター、医療機関、福祉機関、大分県自閉症協会など…。

各機関での共通ニーズ

- ・各関係機関が本人の経歴等を把握するツール…発達支援ファイル
- ・個々の特性に応じて配慮すべき情報提供…登録証、サポートカード

発達支援ファイル及び個別支援計画のイメージ

発達支援ファイルとは
発達障がい児を育てる保護者は、切れ目のない一貫した支援を望んでいることから、個別の支援計画や支援の情報を関係機関で共有することを目的に作成したファイル。発達障がい者支援センター「イコール」に申し込んだ保護者や支援機方に対して配布。様式はインターネットでもダウンロードが可能

幼児期

小・中・高校

就労
日中活動

総合的な計画

発達支援ファイル中の
個別支援計画

(保護者及び関係機関が連携して作成)

個別の教育支援計画

(保護者と連携し学校が作成)

相談支援事業者の
個別支援計画(ケア計画)

(本人に確認しながら相談支援事業者が作成)

調整

調整

調整

保育所の指導計画

個別の指導計画

障害者職業センターの職業
リハビリテーション計画

療育機関の支援計画

サービス事業者の個別支援計画

個別機関ごとの
具体的な計画
(例)

情報

情報

情報

連携ツール

発達支援ファイル・サポートカードなど (保護者が主体となり、対象児者の特徴や支援の履歴を伝達・共有)

ライフステージに対応した、切れ目のない一貫した支援を可能にする

発達支援ファイル表紙



サポートカード

私の困っていることに目を離してください！

① _____

② _____

③ _____

④ _____

⑤ _____

※各機関等に行った時、配慮してほしいことを書きましょう

大分県発達障がい者支援センター 連絡協議会

こんなことにも配慮してもらえるとありがたいです

◎ 家人に話しかける時

- 話しかける時は、ゆっくりと丁寧に伝えてください。
- ことばだけでなく、視覚的な手がかり(メモや写真など)も一緒に示してください。
- ジェスチャーや動作などを用いて、見本を示してください。
- 一度にたくさん説明や指示はせずに、一つずつ伝えてください。

◎ 待合室を待っている時

- 待合室で大声をあげている時
→「あと〇〇分待ってください」
- 人がたくさんいる所で、ゆっくり待てない
→「別の部屋で待ちますか？」

氏名 _____

住所 _____

大分県発達障がい者支援センター
ECOAL
大分県豊後大野市大野町大野2-1-102
あふれあふれ交流センター
TEL:097-589-8080

周知・配布方法

連絡協議会や支援専門員等を通じて配布
HPからのダウンロード(www.ecoal.info)

発達支援ファイルの内容

チェックリストを通すことで、行動特性の把握も可能

5 訓練・相談・福祉サービス等一覧

期 間	年 齢	機関名	内 容
年 月 日 }	}	(担当:)	
年 月 日 }	}	(担当:)	
年 月 日 }	}	(担当:)	
年 月 日 }	}	(担当:)	
年 月 日 }	}	(担当:)	
年 月 日 }	}	(担当:)	
年 月 日 }	}	(担当:)	
年 月 日 }	}	(担当:)	
年 月 日 }	}	(担当:)	

個別の支援計画Ⅱ(支援シート)

1. 本人や保護者の種別 作成日: 年 月 日(記入者)

生活上困っていること	本人や保護者の願い

2. 支援目標

--

3. 本人への支援

	支援箇所・支援内容・支援者	支援方針	支援経過及び評価
政府・自治体			(年 月 日)
家 族			(年 月 日)
福 祉			(年 月 日)
保健医療			(年 月 日)
学 校			(年 月 日)
その他			(年 月 日)

行動面②(対人関係やこだわり等)

項 目	はい (回数)	多少 ある (回数)	はい (2回)
・大人びている、まぜている			
・みんなから、「○○君!」と呼ばれている(例:リンダー、○○君)			
・物のすぐそばは距離を構えないようにすることに気がつき、 「自分だけの知覚世界」を持っている			
・特定の分野の知識を蓄えているが、丸暗記であり、意味を きちんとは理解していない			
・声のある言葉や動きを声や目で見ながら、言葉通りに 受けとめようとしていることがある			
・命令の仕方が形式的であり、狂気なく言ったり、聞き手が 取れないことがある			
・言葉を組み合わせて、自分だけの言葉にならないような言葉を 作ることがある			
・お母さんで話さることがある			
・誰かに何かを伝える口がなくても、無言に動作や声を出す (例:顔を赤らす、取っ手を握る、など)			
・とても無意味なことがある一方で、非常に不意味なものがある (例:いろいろな事を知りますが、その場の状況や相手の感情や立場を正確に読み 取ることが難しい)			
・周りの人が怒鳴るようなことも、配慮しないでやってしまっ たりすることがある			
・友達と仲良くしたいという気持ちはあるけれど、友達関係 をよく築けない			
・お母さんにはいるが、一人で遊んでいる			
・仲の良い友人がいない			
・常軌が変しい			
・部屋やゲームをする時、仲間と協力することに覚えが良くない			
・動作やジェスチャーが不器用で、きこえないことがある			
・意図的でなく、誤やな動作がすることがある			
・ある行動や考えに強くこだわることで、買込や自身の 行動がでなくなることもある			
・自分なりの独特な言葉や手話が、必要や動作を伴う			
・特定の場面に執着がある			
・他の子どもたちから、いじめられることがある			
・狂気な表情をしていることがある			
・強固な意志を持っていることがある			

(※検査票)該当する項目が2ポイント以上をカウントした場合は、「行動面②」の項目が変更される。

本発達支援ファイルに記載された情報をもとにすることで、
各関係機関の中で個別支援計画の作成を促す

発達支援登録証(大分県)

■ 地域生活をおくる中で、発達の特異性に対する配慮や支援が必要であることの理解が得られやすくなることを目的に、診断書、もしくは検査結果証明書に基いて大分県発達障がい者支援センターが希望する者に発行する

発達支援登録証	
登録番号	号
大分県発達障がい者支援センター ECOAL イコール	
私の困っていることに目を傾けてください	
氏名	
住所	
生年月日:	年 月 日生(男・女)
大分県発達障がい者支援センター 〒879-7304 大分県豊後大野市大野町大草2749-1 ぶらさ里地産交流センター111内 ECOAL イコール TEL:097-586-8080	

■ 大分県発達障がい者支援センター連絡協議会の場で承認を受け、平成22年6月1日から実施



支援ネットワークに向けた取り組み (各専門家にゼネラリストの視点を養成)

- 療育機関や学校現場といった各機関の専門家が限局的な見方にとらわれず、地域や家庭生活を含めたライフステージを見通した(ゼネラリスト)視点を身につけていくために、関係機関同士で情報交換をしたり、**お互いの困りを分かち合える**研修場面を創設

大分県発達障がい者支援専門員養成研修の実施
(初級:平成18年～、中級:平成19年～、上級:平成20年～)

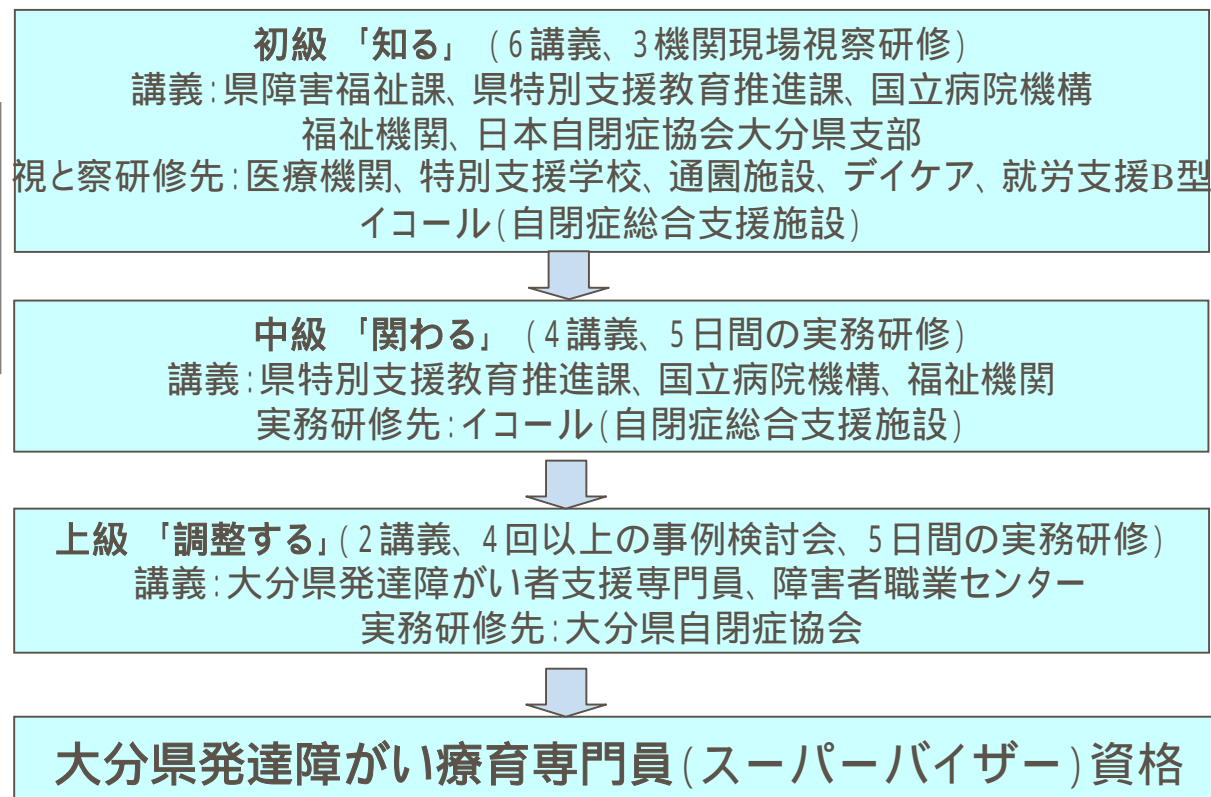
平成21年より、発達障がい者支援専門員派遣事業を開始

大分県発達障がい者療育専門員養成研修

【目的】 この研修は実践現場で発達障がい児(者)の医療・保健・福祉・教育・労働の各分野において支援を行っているスペシャリストの方々に対して、**3年の研修期間**を経ることで発達障がい児(者)のライフステージを見通した相談やコンサルテーション、支援計画を作成できるゼネラリストの養成を目指しています。

【実施主体】 大分県発達障がい者支援センター連絡協議会

各級とも
定員30名



現場で学べる機会が欲しい

各機関のスペシャリストの方に対して、情報の共有化とネットワークの構築を推進する

講座の協力機関

行政：大分県福祉保健部障害福祉課
大分県障害者職業センター

医療機関：西別府病院、別府発達医療センター

教育機関：大分県特別支援教育推進課

福祉施設：自閉症総合支援施設 萌葱の郷

当事者団体：大分県自閉症協会

医療・教育・福祉の講座に関しては、

初級コースと中級コースを用意



発達障がい者支援専門員養成研修

医療・保健・福祉・教育・労働などの各分野で発達障がい児者の支援に携わっているスペシャリストの方々に対して、発達障がい児者のライフステージを見通した相談、支援を行うことが出来るゼネラリストとしての視点を身につけていただくために、大分県発達障がい者支援センター連絡協議会が実施(支援センターが事務局となり、年間約100回開催)

【初級】

講座(3日間6講座)

時期	研修内容	時間	講師
6月	『発達障がい児の未来のために ～専門家に寄せる親の願い～』 ・保護者から専門家に望むこと ・保護者の気持ち、きょうだいたちの気持ち	(90分)	大分県自閉症協会会長
	『特別支援教育(基礎編)』 ・特別支援教育とは	(90分)	県教委特別支援教育課長
9月	『発達障がい者の福祉の動向』 ・発達障害者支援法の概要 ・発達障がい児・者福祉の現状と取組	(90分)	大分県障害福祉課長
	『発達障がい者の医療(基礎編)』 ・発達障がいの理解 ・発達障がいの診断と医療面での支援	(90分)	西別府病院副院長
1月	『発達障がい者の福祉(基礎編)』 ・発達障がい児に対する福祉サービス ・発達障がい児のサービス利用	(90分)	別府発達医療センター参事
	『発達障がい者の療育(基礎編)』 ・発達障がい児・者への個別支援 ・支援者にとって必要なこと	(90分)	自閉症総合支援施設長

視察研修(30人×3日間)

時期	研修・視察先
7月	・自閉症総合支援施設 めぶき園 ・児童発達支援センター なごみ園 ・発達障がい者支援センター
	・県立新生養護学校 ・博愛こども成育医療センター ・就労支援施設ゲニー工房
11月	・大分こども療育センター ・別府発達医療センター

【中級】

講座(2日間4講座)

時期	研修内容	時間	講師
5月	『発達障がい者の医療(実践事例)』	(100分)	西別府病院副院長
	『発達障がい者の福祉(実践事例)』	(100分)	別府発達医療センター参事
11月	『特別支援教育(実践事例)』	(100分)	県教委特別支援教育課長
	『発達障がい者の療育(実践事例・演習)』	(100分)	発達障がい者支援センター長

実習

30人×5日間

時期	研修・視察先
6月～2月	・自閉症総合支援施設 めぶき園 (3日間) ・児童発達支援センター なごみ園 (2日間)

【上級】

事例検討会及び講座

時期	研修内容	時間	講師
4月	事例検討会	(120分)	発達障がい者支援センター
6月	事例検討会	(150分)	発達障がい者支援専門員養成研修運営委員
8月	公開講座(例 自閉症とてんかん)	(120分)	発達障がい者支援センター連絡協議会長等
	事例検討会	(180分)	発達障がい者支援専門員養成研修運営委員
10月	事例検討会	(150分)	発達障がい者支援センター
11月	発達障がい者の就労について	(90分)	障害者職業センター長
	発達支援ファイルと個別支援計画について	(90分)	発達障がい者支援専門員
1月	事例検討会	(150分)	発達障がい者支援専門員養成研修運営委員
2月	事例検討会	(180分)	発達障がい者支援センター
	まとめ	(30分)	

定例会等参加(30人×5回以上)

時期	研修・視察先
毎月	大分県自閉症協会
第1金曜日	年少部会
第2木曜日	青年部会
第3金曜日	高機能・アスペルガー部会
第3日曜日	レクリエーション
夏季休暇中	療育キャンプ



視察研修の協力機関(初級)

医療機関:

博愛病院(就労B、デイケア)

別府発達医療センター(リハビリ・児通園)

大分こども療育センター(リハビリ・児通園)

福祉施設:

自閉症総合支援施設 萌葱の郷

(児デイ・者通所・入所・地域生活・就労B)

教育機関:

新生特別支援学校

萌葱の郷以外は、4機関から2機関を選択する

医療法人謙誠会 博愛病院

ライフステージを通じた才能支援を目指して



〒876-0868 大分市野田1111

TEL: 097-586-0888



外来治療では、診断・検査により、発達障害の詳細を本人やご家族にお知らせしています。また、こだわりの特性のために周囲と噛み合わずパニックを起こしてしまうこと等に対し、こだわりの緩和、パニックの緩和のため薬物の選択と調整を入院治療も含めて行っています。

小児精神科デイケア・児童デイサービスの視察

2歳～成人までの方々に小児精神科デイ・ケア及デイ・サービス等の通院で、日常生活の中で構造化された専門的支援を提供しています。



就労継続支援B型 ゲニー工房の視察

特性に応じた6つのセクション、24の作業工程を準備し、彼等の実践配備を待ちます。6つのセクションは常に調整会議で彼等の特性と実際の仕事内容との整合性を常にチェックし、適正な作業を選択、提供します。森と花と人の中で自分のペースで心地よく働ける職場の提供をしています。



リハビリ(ST、OT)と通園施設における療育の視察

別府発達医療センター 〒874-0838 大分県別府市大字鶴見4075番地の1



大分こども療育センター 〒870-0943 大分市大字片島字長三郎2996-3



特別支援学校における 専門教育プログラムの視察



大分県立新生養護学校



萌葱の郷(自閉症総合支援施設)の役割

成人施設 視察・実地研修

(施設における自閉症者の行動調整支援)
(就労B・ケアホームにおける地域生活支援)

初級者 1日間 事業説明・見学

中級者 3日間 実習・事例紹介(SV)

児童デイ 視察・実地研修

(母子交流、地域交流、SST)

初級者 1日間 事業説明・見学

中級者 2日間 実習・事例紹介(SV)

上級者研修は事例検討会と保護者会支援(SV)

社会福祉法人 萌葱の郷 めぶき園

自閉症総合支援施設を目指して



行動課題を持つ自閉症者に対して、障がい特性に合わせた活動プログラムの提供と、その中での行動調整支援

平成3年開園

知的障がい者更生施設

(自閉症専門施設)

入所支援 30名定員

生活介護(通所)支援

40名

ケアホーム10名

利用者の9割が自閉症の
診断を受けている

〒879-7306

大分県豊後大野市犬飼町
下津尾4355番地10

TEL097 - 578 - 0818

FAX097 - 578 - 0819

観光 + 福祉の交流拠点に 道の駅(?) どんこの里 いぬかい

障がい者就労継続支援B型

定員20名



豊後大野市久原1863番地8

(国道10号線沿)

TEL:097-578-0077

自閉症者がはたらくことを通して地域に貢献することで、本人の生きがいと、
地域における発達障がいの理解を促していく

自閉症者とともに地域生活を豊かにする ケアホーム かわしま

平成21年度 設立
共同生活介護 定員10名



自閉症者の共同生活における配慮事項や余暇、地域における交流事例などを紹介

居宅介護 ホームヘルプサービスセンター らすかる

地域生活を豊かにする



平成17年開所

利用者の約9割が
幼児から成人まで
の自閉症児・者

自閉症者の地域生活の実現を目指した行動援護

家庭内暴力による施設入所希望のケースに対して、行動援護による支援計画の作成と行動調整を図っていくことにより、継続的に地域生活を送ることができている実際の事例を紹介

児童デイサービス こども発達支援センター なごみ園

こどもの育ちと暮らしを考える



対人関係を促すための発達支援とソーシャルワークによる関係機関との連携について、事例を通して紹介する



平成13年開園

児童デイサービス(通園)

10名定員(登録70名)

年齢 2~18歳



保護者会(大分県自閉症協会)の役割

初級者の講座

発達障がい児の未来のために
～ 専門家に寄せる親の願い～

上級者の実地研修の場

各部会の定例会への参加

(年少部会、青年部会、高機能・アスペ部会)

レクリエーションや宿泊キャンプへの参加

(あとむの会、びい はぴ、夏季キャンプ等)

上級者研修は、他に講座と事例検討会の参加が必要

大分県自閉症協会の定例会とキャンプ

保護者の困りとニーズを
把握するための研修



夏季キャンプにて、自閉症児との共同生活を体験する



大分県での取り組み

各市町村に専門家(スーパーバイザー)を派遣

- 適切な相談・支援方法を理解し、発達障がいの支援に携わった実績を持つスーパーバイザーが、発達障がい児・者の支援を検討するケース会議等に訪問してお手伝いをします(無料)

大分県発達障がい者支援専門員派遣事業

実績:平成21年度96件(申請106件)、平成22年度200件(予定)

専門員の所属機関名簿 (HP掲載)

発達障がいに関する専門性の透明化を図る

世界自閉症啓発デーに合わせて開催する、大分県自閉症啓発デーの中のプログラムとして大分県発達障がい者支援専門員の認定式を位置付けている



所属機関の例(平成22年度現在)

県障がい者体育協会、社会福祉事業団、私立保育園、公立保育園・小学校・中学校・高等学校・適応指導教室・特別支援学校、市相談支援専門員、市児童家庭課、市子育て支援課、児童クラブ、児童通園施設、児童デイ、児童入所、者入所、生活介護、就労継続、居宅介護、地域生活、社会福祉士事務所etc

今後、専門員の所属が見込まれる機関(研修受講中)

国立病院機構、診療所、精神科クリニック、精神科デイケア、県障害福祉課、市障害福祉課、市保健所、知的障害者更生相談所、公共職業安定所、就業・生活支援センター、児童相談所、公立幼稚園、私立高校・大学、大学付属特別支援学校、株式会社etc

平成22年度より、大分県発達障がい者支援専門員の会が発足

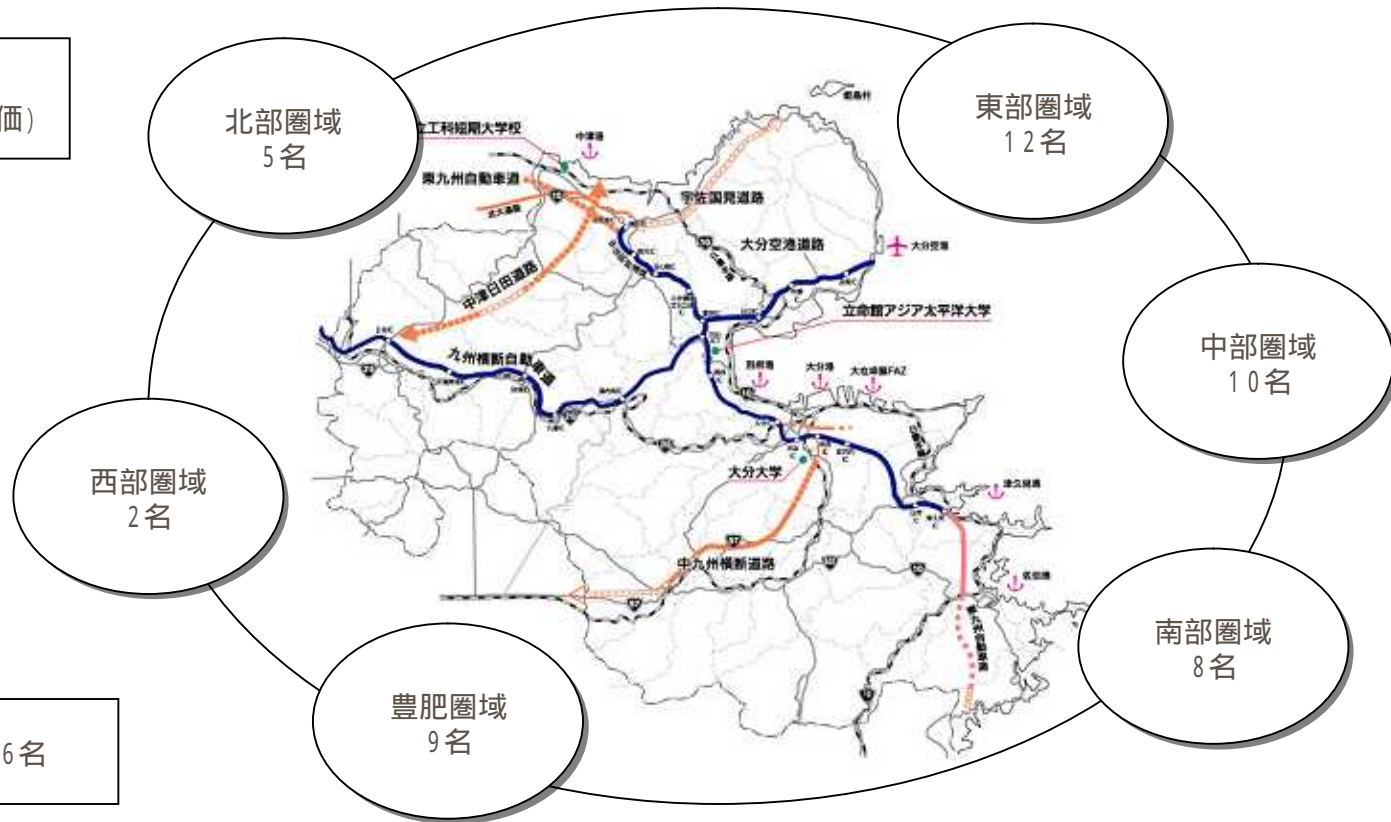
平成22年度
発達障がい者支援専門員の分布図

発達障がい者支援専門員養成研修受講者数

	H18	H19	H20	H21		
1期生	初級50名	中級34名	上級25名	→	15名修了済	
2期生		初級50名	中級37名	上級31名	→	31名修了
3期生			初級50名	中級40名		
4期生				初級30名		

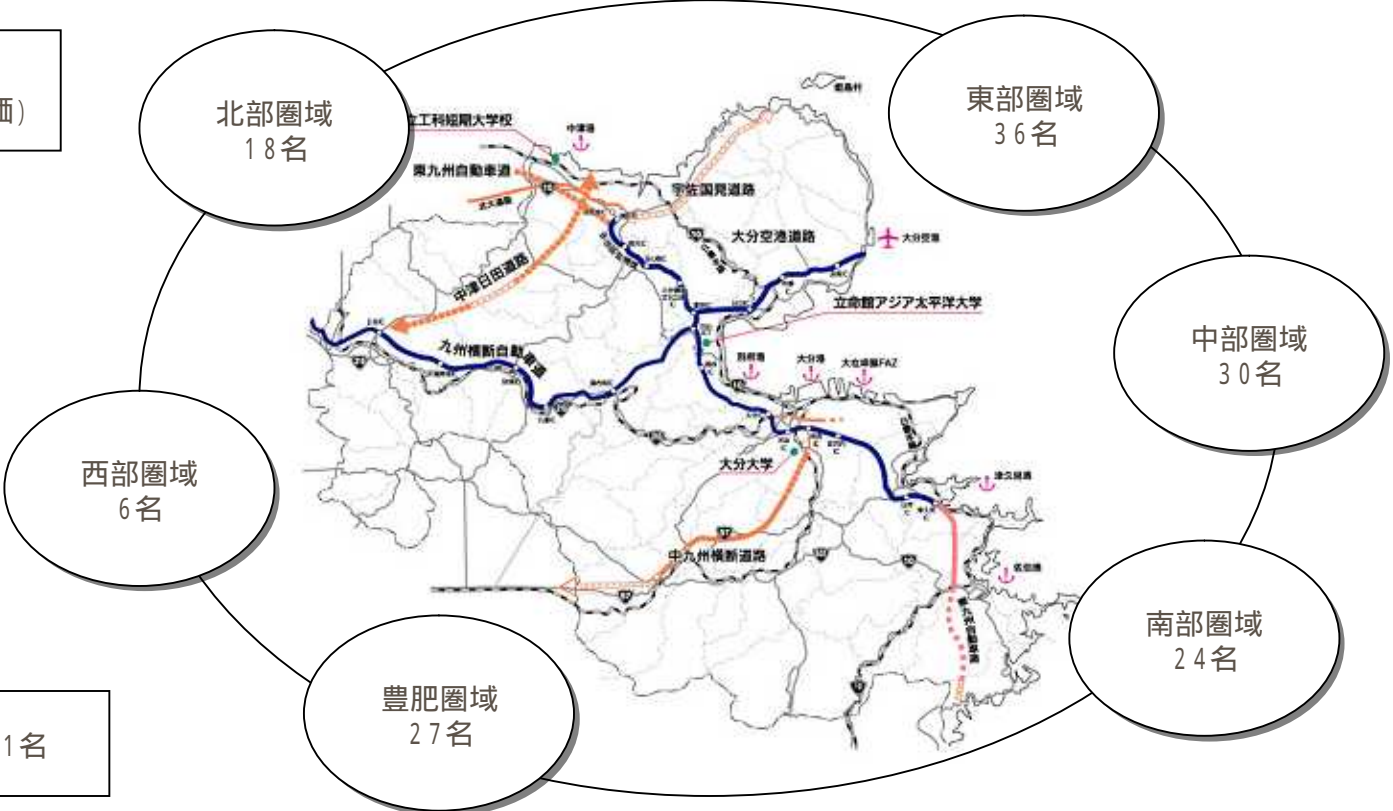
進級・修了には、講義・実習の全日程受講及びレポート提出が必須。

圏域別人数
(支援体制の評価)

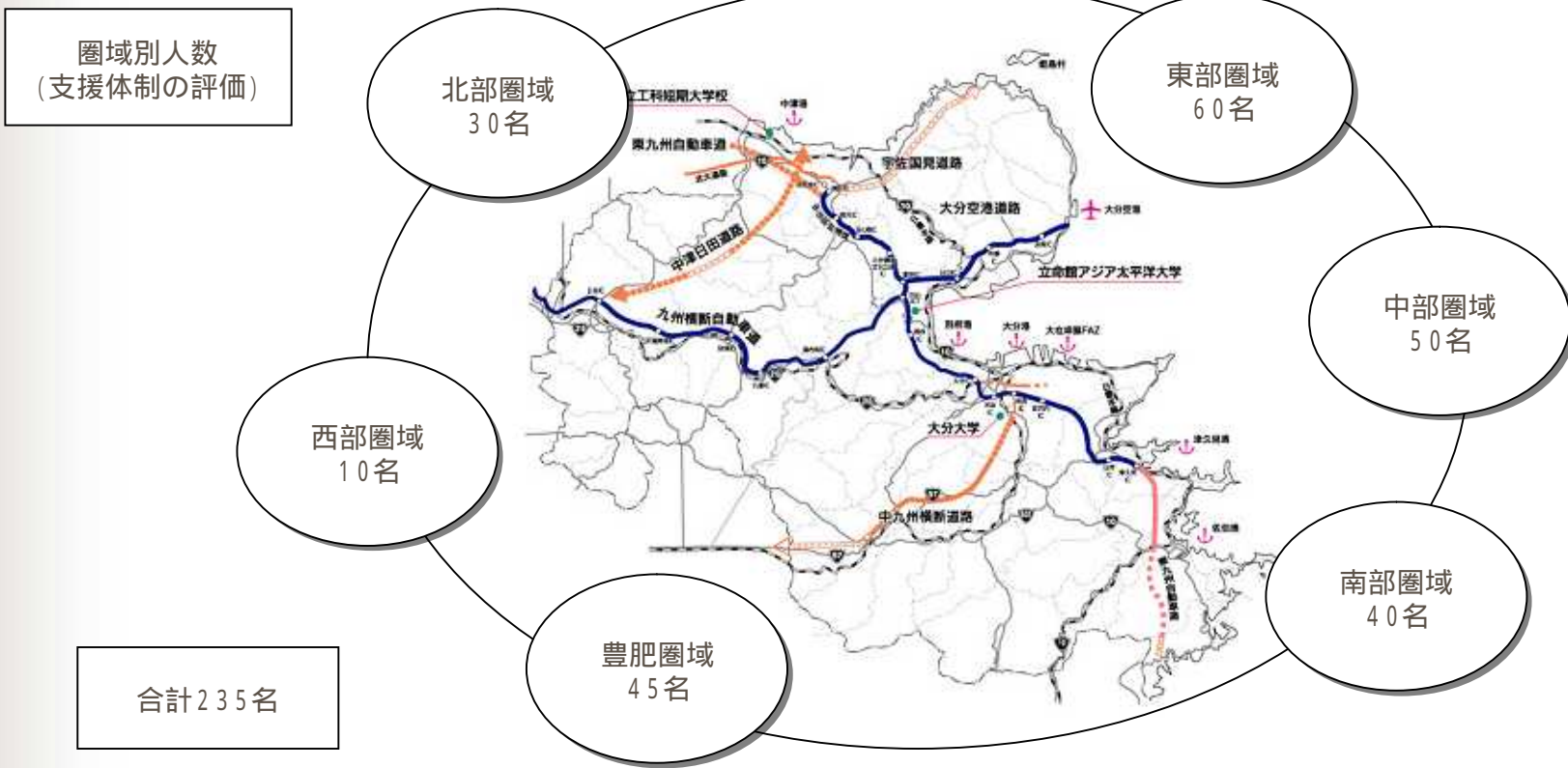


平成26年度(4年後)の
発達障がい者支援専門員の分布図(構想)
発達障がい者への合理的配慮を目指して

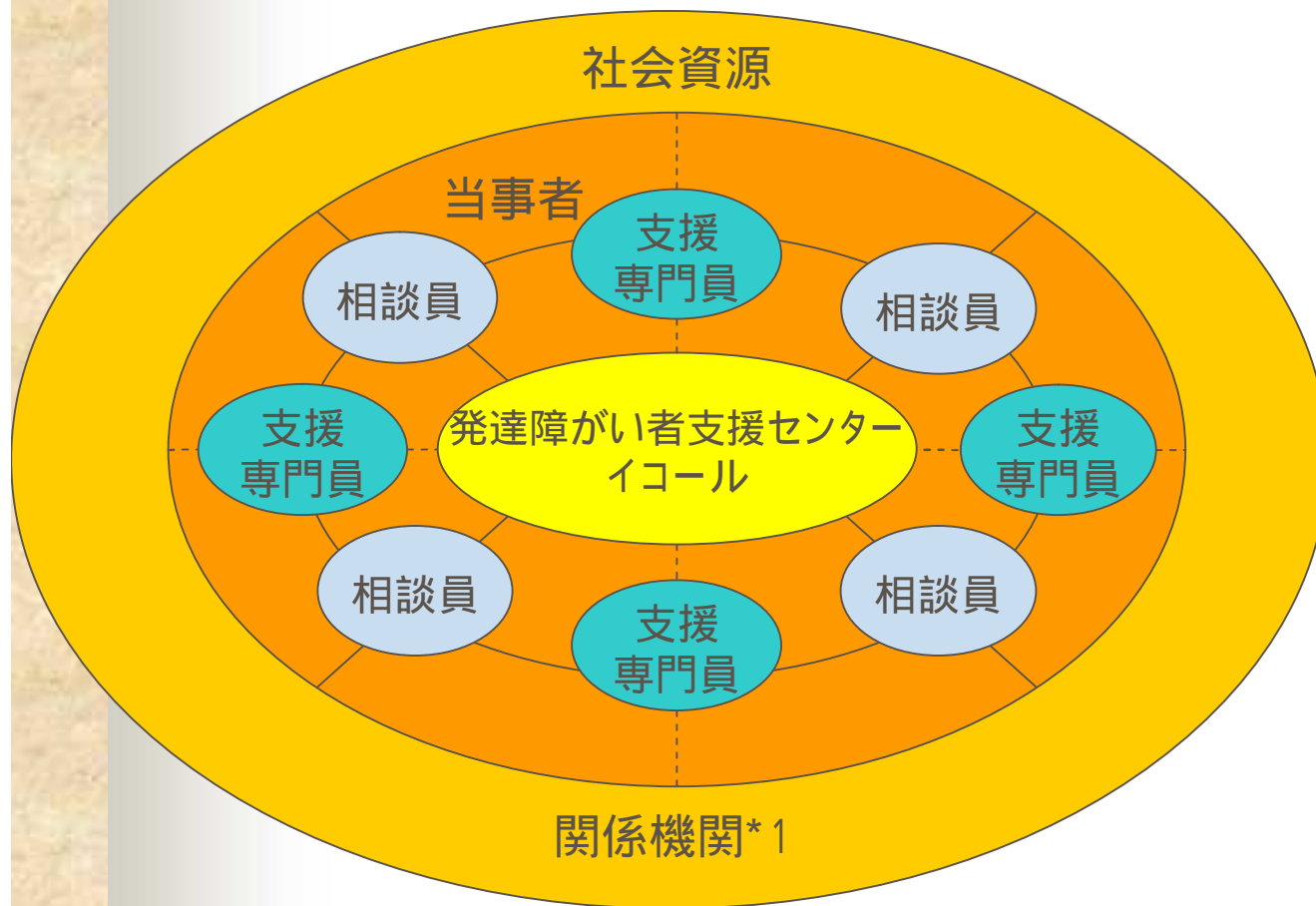
圏域別人数
(支援体制の評価)



平成30年度(8年後)の
発達障がい者支援専門員の分布図(構想)
発達障がい者への合理的配慮を目指して



発達障がい者の相談支援における重層的連携体制



*1: 福祉事務所、保健所、相談機関、医療機関、教育機関、労働機関、福祉施設、当事者団体、学校、幼稚園、保育園 etc

相談機関のSV体制

- イコール : 相談、情報提供、スーパーバイズ、研修事務、派遣管理etc
- 発達支援専門員: 相談、情報提供、コンサルテーション、スーパーバイズetc
- 相談支援専門員: 相談、情報提供、サービス調整、個別支援会議開催etc